

2025 年 9 月 19 日

ステークホルダー様各位

三井住友建設株式会社
代表取締役社長 柴田 敏雄

当社の持続的成長に向けて
～インフロニアグループの中核事業会社を目指して～

本日公表いたしました、「インフロニア・ホールディングス株式会社（以下「インフロニア」）による当社株式の公開買付け成立のお知らせ」のとおり、本公開買付け成立に伴い、当社はインフロニアの子会社となり、経営統合の第一段階が完了致しました。今後は同グループの一員として、新たな一步を踏み出すこととなります。これもひとえに、長年にわたりご支援くださった株主の皆様、そして日々の事業活動を支えてくださったお取引先の皆様のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。

今後も皆様との信頼関係を大切に、誠実な事業運営を続けて参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

なお、今般の経営統合は、当社株式の 27.80%を保有する株式会社シティインデックスイレブンス他共同保有者様（以下「シティ社様」）のご賛同なくして成立しませんでした。シティ社様は当社株式を 6 年間にわたり継続保有され、この間当社の企業価値向上に資する様々なご提言をいただきました。国内大型建築工事（以下「本案件」）の損失計上について、シティ社様にご紹介いただいた外部有識者の視点を取り入れた調査委員会の検証を経て、技術的な問題のみならず当社企業風土・ガバナンス上の問題点等が明らかになりました。これが当社の一連のガバナンス改革の端緒となりました。

また、シティ社様からは、「本案件受注に際し取締役会決議が行われていなかったことから巨額の損失計上の責任をつまびらかにするため、当社として取締役の責任を追及する訴訟を行うべきではないか」というご指摘を受けました。そして、当社が訴訟を行わないのであれば、シティ社様が「株主代表訴訟を行いたい」との意向も示されました。これに対し当社において訴訟を提起する予定はないこと及び代表訴訟を提起することが適当な事案ではないと考えていることをお伝えいたしました。また、シティ社様は本公開買付けの成立後に当社の株主ではなくなることから、インフロニアに対し、「親会社として取締役の責任を追及する訴訟を行ってほしい」との要請がありましたが、インフロニアとしては、現時点では本件に関して訴訟を行うか否かについて決定している事実はないとのことです。この場を借りて多くの株主様にご心配・ご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。また、シティ社様に今回の経営統合にご賛同並びに本公開買付けにご応募いただいたことに対し、ここに記してお礼申し上げます。

今後、経営統合を成立させるために、インフロニアグループ各社と実質的な経営統合に向け PMI に全力で取り組んでまいります。なお、シティ社様からは、「社長も、本案件について全く責任がないとは言えず、また、社長就任時の週刊誌報道等にあった混乱などの経緯もあるので PMI がひと段落した段階で身を引くべきではないか」とのご指摘を受けました。この点については、持続可能な経営体制に向け、できる限り早く経営統合を軌道に乗せ、次世代に引き継いでまいる所存です。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

以 上